

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市竹見台4丁目計画 新	階数	地上6階 地下1階
建設地	大阪府吹田市竹見台四丁目5番5	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	231 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2018年11月30日
敷地面積	2,860 m ²	作成者	株式会社D&D建築設計事務所 吉
建築面積	1,071 m ²	確認日	2018年11月30日
延床面積	5,326 m ²	確認者	株式会社D&D建築設計事務所 尼崎敦



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 79% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 79% (92 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 79% (138 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.9

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	外皮性能をよくすることで、快適な室内環境を作ることや、熱負荷の低減に考慮し、緑地や植栽を設けることで周囲のまちなみにも配慮した景観形成に努めた。	その他 特になし。
Q1 室内環境	内装建材にF☆☆☆☆規格品を全面的に採用し、室内環境に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地や植栽を設けることにより、良好な景観の形成に配慮した。
LR1 エネルギー	断熱材の厚みと種類に配慮し外皮性能をよくすることで、熱負荷を抑制することに努めた。	LR3 敷地外環境 LED照明の採用等によりライフサイクルCO ₂ 排出率を低減することに努め、敷地外環境に配慮した計画とした。
Q2 サービス性能	素材や色調、また照明計画にも配慮した内装計画により、居心地のよい空間を作るように努めた。	
LR2 資源・マテリアル	躯体、仕上材、設備の分別を容易にすることで、部材の再利用可能性向上に努めた。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0137

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)吹田市竹見台4丁目計画 新築工事					
		建設地	大阪府吹田市竹見台四丁目5番5					
		用途/区分	集合住宅					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						4	
④	エネルギー削減						5	
⑤	自然エネルギー直接利用						○	
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.8	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.0	4	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0	5	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	○	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
その他								
		技術の名称	考慮事項					
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								